

会 議 記 録

政策企画局 市民参加・協働推進課

開催日	平成 24 年 5 月 21 日(月)	開催時刻	13 時 30 分から 15 時 30 分
会議名	上田中央地域協議会(平成 24 年度第 2 回)		
出席者	浅井委員、飯島委員、尾沼委員、河田委員、神林委員、久保田委員、栗内委員、佐藤委員、塩入委員、中村一樹委員、藤川委員、宮坂委員、宮島委員、宮本委員、村上委員、矢島委員、山浦委員 (欠席委員)中村彰委員、松澤委員、渡邊委員 (説明者)岡田上田地域自治センター長兼市民参加・協働推進参事、樋口市民参加・協働推進課長 (事務局)神林地域振興政策幹、北沢市民参加・協働推進課長補佐、堀内市民参加・協働推進課主査		
会議次第	<p>1 開会(事務局)</p> <p>皆さんこんにちは。大変お忙しいところ、中央地域協議会第 2 回の通知をお知らせしましたところ、ご参加いただきまして誠にありがとうございます。定刻になりましたので、ただいまから地域協議会を始めさせていただきたいと思います。最初に会長からごあいさつをお願いします。</p> <p>2 会長あいさつ</p> <p>皆さんこんにちは。第 2 回目の上田中央地域協議会ということで、お集まりいただきましてありがとうございます。今日は金環日食ということで、皆さんも見てくださいと思います。193 年ぶりという事ですが、これから先、2035 年に中国で帯状に横断するとのことで、わずかな地域はまた見られるようですが、今回のように広範囲に見えるのは実に 900 年ぶりのようです。よい経験ができました。</p> <p>今日は「地域内分権確立に向けた第 4 ステージの展開について」ということでこれからお話を聞いて勉強させていただきたいと思います。先日、新聞にも出ていましたが、第二次行財政改革大綱が上田市でも決定されて、その中にも新たに地域内分権の確立に向け、取組の内容が載っております。平成 24 年度から第 4 ステージということで、新たに市ではいろいろと考えておるようですが、今日は説明を聞き皆さんから質問をいただいて、内容について理解をしていきたいと思えます。</p>		

事務局： ありがとうございます。それではこの後、協議に入るわけですが、前回、ご都合により欠席された委員の方に自己紹介をお願いしたいと思います。

3 自己紹介

4 協議事項

【資料】地域内分権確立に向けた第4ステージの展開について（7ページ）

会長： それでは、「地域内分権確立に向けた第4ステージの展開について」事務局から説明をお願いします。

樋口市民参加・協働推進課長： 今日はお忙しいところ、地域協議会にご出席いただきありがとうございます。私は、市民参加・協働推進課長の樋口と申します。本日は地域内分権につきまして、市の考え方をまとめてありますのでご説明させていただきたいと思います。

お手元にお配りしました資料については、先月4月17日に地域協議会の委嘱式の際に政策企画局長の宮川から説明させて頂きました資料でございます。

地域内分権の推進にあたりましては、第1ステージから第4ステージと4つのステージを設定しまして、これまで合併以降、段階的に取組を進めてまいりました。

この件についてお配りしました資料2をご覧ください。この資料については地域内分権の確立に向けた各ステージの内容が記載されておりまして、図の左側、地域内分権を推進する取組ということで、住民自治の充実、団体自治の充実、に分類してお示した図です。その横には目標である「地域の個性や特性が活かされ、地域力が発揮されるまちづくり」に向けた第1ステージから第4ステージまでの取組内容を項目ごとまとめたものでございます。

これまでの取組内容ですが、第1ステージについては、9つの地域協議会と7つの地域自治センターの設置。第2ステージについては、わがまち魅力アップ応援事業の創設と、まちづくり活動拠点の整備、地域予算制度の導入を行ってきたところでございます。この、わがまち魅力アップ応援事業については、これまで地域協議会の皆さんに審査をいただいております。次の第3ステージですが、引き続きまちづくり活動拠点施設の整備推進ということで、豊殿・塩田・川西について整備を進めてまいりました。

また、昨年4月には自治基本条例を制定しました。このあとの第4ステージの取組では、住民自治組織の設立、地域活性化への支援として地域担当職員の配置、地域予算の拡充を位置付けております。資料右下には、現時点で想定している住

民自治組織のイメージ図を示しています。大まかで分かりにくい図かと思いますが、住民、自治体、各種団体が連携協力して地域ぐるみで地域課題の解決や地域の個性・特性を生かしたまちづくりを担っていただいて、参加と協働による地域づくりを推進するための仕組みと考えていただければ良いと思います。

第4ステージの取組み方針について 資料説明

以上、第4ステージの取組について申し上げました。本日の資料は地域内分権確立に向けた、地域における参加と協働の新たな仕組みづくりと、行政としての支援策を構築していきたいという考えのもとに、大変分かりにくい面もあると思いますが、現時点でまず基本的な方針をまとめたものです。

今後、それぞれの地域自治センターとも協議を重ねながら地域の実態にあったまちづくりの推進を考えております。息の長い取組になると思います。住民の皆さん、協議会委員の皆さんと連携を図りながら、また周知を図りながら、着実に取組を進めたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

会長： はい。どうもありがとうございました。只今、説明がありましたが、今まで第3ステージは自治基本条例の策定までで、終了ということになっていますが、今の説明についてご質問ありましたらお願いします。

委員： この地域経営会議の規模ですが、例えば自治連単位とかになるのか。

岡田地域自治センター長： 上田地域自治センター長兼市民参加・推進課参事の岡田と申します。よろしくお願いいたします。地域経営会議の具体的な設置の範囲は、正直どのようにしていくのか、こちらとしても決定してないのが現状です。というのは地区連が一つしかない地域もありますし、この中央地域は5つの地区自治連があります。地域によって状況が違うこともあり、どのようにしていけば良いのか皆さんと協議をして一番良い答を出していければと考えております。

会長： 住民自治組織の設立に向け、地域経営会議をまず設置するという説明だったが、その地域経営会議の単位は決まっているのか。

市民参加・協働推進課長： これは協議を進めていく中で、規模についてはいろいろと単位が考えられると思います。資料2の右下のイメージ図では、あくまで一例として地域協議会の単位であげておりますので、今後、議論を進める中で決定していきたいと思います。

委員： はっきり言ってよく分かりません。前回までが第3ステージで、平成24年度からは第4ステージに入る。全体像が分からない。第1ステップからよく分からない。地域経営会議が自治会組織とどう違うのかよく分からない。混乱している。

会長： この前の委嘱式の時に説明がありました。

委員： そうでしたか。私は欠席していましたが、もう皆さんはそこで理解されているのかな、と思った。私も二期目になるがこのような絵図を見たことがなかったので驚いている。いつ、どこで、どのように決定されてこのように示されたのですか。

現在、自治会組織がありながら、地域経営会議をつくるということで形が分からない。地域協議会単位で一つなのか、何個もできるのか、これから検討されるのですよね。多くの課題があり、どのような方向に進んでいくのか理解できない。自治会組織とどのように違うのか、住民はどこに属しているのか、混乱しています。

センター長： この地域内分権の確立に向けて第1～4まで取組みを進めてきましたが、第4ステージの詳細（全体像）は今までお示ししていませんでした。地域内分権の確立に向けた取組として、第4ステージでは住民自治組織の設立に向けて、一つは地域担当職員の配置。もう一つは地域予算の確立をしていくことが大きな内容です。第3ステージの自治基本条例の制定までの工程は一段落し、第4ステージを、これから具体的にどう進めていくのか、昨年からの検討をしてまいりました。従ってこの第4ステージで第1ステップからの内容を示すのは今回が初めてとなります。これからかなり時間もかかると思います。地域協議会と自治会、皆さんとともに地域の身近な問題について、ともに支え合い取り組んでいくことには間違いありません。その他にも特定のテーマを持ち活動する地域の団体があります。このようなコミュニティを中心に様々な団体等が連携を取りながら地域課題の解決に向けて、取組を進めていければと考えています。そのようなことから市の新たな取組としてお出ししました。

それから地域経営会議の考え方ですが、地域の皆さんと行政が一体となって検討できるように、まずは「地域経営会議」という組織を設置したらどうかというものです。この設置の単位と言うのは、初めは地域協議会単位と思っていますが、この地域経営会議の中で地域としてどのような地域づくりができるか、そして将来的な住民自治組織はどのような形が良いのか、そのようなことを検討していければと思います。

委員： これは全庁的に検討したのか、政策企画局の中で検討して決まってきたのか。

センター長： 庁内全てで検討したということです。

委員： 市民の意見は入っているのか。

センター長： 市民の意見は入っていません。何もない状態で議論は進みませんので、あくまで市の考え方をお示ししたものです。これから市民の皆さんのご意見もいただく中で変わる可能性もあるかもしれませんが、基本的なことをまとめてあるだけなので、これを私の方から市民の皆さんに押し付けるのではなくて、これからどのようにしていけば良いのか、市民の皆さんと協議をしながら検討していきたいと考えております。

委員： 後期基本構想計画がベースにあって住民自治組織をこれからつくるのか。スリム化が最終目的なのか。

市民参加・協働推進課長： 行政のスリム化をするためのものではありません。実質的にはスリム化につながる話かもしれませんが、大前提としてスリム化ありきではありません。

委員： 地域経営会議というのは作るのですよね。地域経営会議、自治連、地域協議会、この三者はこれからどういう形になっていくのか。

センター長： この地域経営会議設置の背景ですが、地域課題の解決に向け、地域まちづくり方針をどのように実現していくか、基本的に考えていかなくはなりません。これまで地域協議会では地域まちづくり方針の実現を中心に地域課題の解決に向けて具体的にどうしたら良いのか大変熱心に調査研究していただいています。ただ、昨年の中副会長会議でもご意見をいただきましたが、調査・研究した提言を実際に実行に移せないというご意見があり、地域まちづくり方針の実現に向けた具体的な取組がなかなか広がっていかない現実があります。実行に移していくためには、地域協議会と自治会、関係する団体等と一緒に課題解決に向けて検討をして方向性を出していく場が必要だと思えます。

それが設置の背景になっています。従いまして地域協議会、自治会、各種団体が行政と一緒にどのようにしていくか考えていく場として、仮称「地域経営会議」を設置した方が良いと考えました。全く別の組織ではなくて各種団体も一緒に協議できるようなそのような場とお考えいただければと思います。

会長： 私自身、イメージ的にはっきりしないのだが、そうなると 3 月議会である方から住民自治組織を作る必要性の質問があった。上田市に密着した自治組織があるのだが、この辺を踏まえるとこれを作る必要性があるのか。現在は自治会なら自治会連合会と地区の連合会もある。その他に上田市全体の上田市自治会連合会があるのだが、市で考えているのは 26 の自治会を超えた大きい組織を考えているのか、又は、自治会、地区連合会のその上の組織になってしまうのか。その辺が分からない。住民自治組織が、地域経営会議で良いのかその辺が知りたい。長野市のように「住民自治協議会」という組織ができています。地域経営会議は別にできていてその辺はどのようになっているのか。

センター長： 市議会でも質問をいただいています。自治会では少子高齢化という時代の流れの中で、役員の選出も苦労している状況もお聞きしております。そのような状況の中で身近な助け合いから始まり、地域で非常にながらんでいる組織であり、住民自治組織設立の前に、まず、自治会の支援をやるべきではないかという趣旨だったと思います。

確かに自治会については基礎的な単位ですし、大変熱心に活動していただいていますので、これから地域内分権を進める上で大変重要なパートナーだと認識しています。従って自治会の支援につきましては自治会の皆さんと一緒にお話を聞く中でももちろん対応していきます。その上で私共としてどのような対応が出来るのか。今年度は、会の設立に向けて市民の皆さんにご理解いただけるような取組をしていきたいと考えています。自治会の支援はもちろん引き続きやっていきますが、それと平行して地域課題は様々なものがありますので、新たな自治の仕組みを作りたいと思います。

地域内分権という 1 つの目標を掲げて、もちろん行政としてやるべきことはやっていきますが、地域の皆さん自らが地域の課題について考えていただき判断し、更に実行部分も担っていただきたいと考えています。こうした中、地域課題に取り組むためには、全てを自治会の皆さんに頼るのも難しく、自治会の皆さんや地域の各団体の皆さんが連携をしてネットワーク化を図り、取り組んでいくことにより地域の力がより大きくなっていくのではないかと考えています。そういったことを考えて決定していくのが、住民自治組織です。その単位については、今の段階では昔からの結びつきの強い地区自治連の単位が基本になると思います。

地域経営会議については地域で地域課題を掘り起こし、解決していくためにどのようにすれば良いのか、誰が実行していくのか。そのようなことを総合的に考えていく場として、合意形成が深められる場が「地域経営会議」と考えて

います。この地域経営会議の中で、住民自治組織も併せて考えていただければ良いと思います。従ってどういう方向になるのかまだ明確ではありません。例えば資料で示したように、地域経営会議が住民自治組織の中心になっていくことも想定されますし、地域経営会議そのものが住民自治組織になることも想定できるのかなと思います。全く違う組織をいくつもつくるのではなくて、現在ある組織が一つの形に最終的になっていけば良いと思います。

委員： この地域経営会議は、市の機関なのか。それと構成メンバーはどうなるのか。

センター長： まだ市としても決定はしていません。地域協議会は附属機関ですので、地域協議会と自治会、各種団体をどう位置付けるかは検討していかなくてはならないと思っています。そこに行政も関わってきますので、附属機関という位置付けは難しいと思います。メンバーは資料の5ページをご覧ください。

平成24年度の取組み方針の資料で、「地域経営会議の意議」の中に、行政（地域自治センター等）と地域住民代表（地域協議会、自治連などの地域団体等）とによって構成する。と書いてありますが、自治連の他の団体にどのような団体があるのかまだ具体的にこちらに示していません。地域課題を解決していく上で必要と思われるような、地域で活動している団体を含めて構成していければと思います。

会長： 他に何か質問ありますか。地域協議会そのものも、ここに出て来ている皆さんが議論しているが、住んでいる地域の皆さんが地域協議会でどんなことを議論しているのか未だに全然分かっていない。私は自治連の代表で出ているから自治連の会議では地域協議会の報告もしているが、なかなか理解されにくい。その中でまた新たにこのような組織をつくるのは非常に大変だと感じています。地域協議会の役割の明確化もなされていないと感じます。協議会が出した提言についても未だに実行されていないものもある。いずれにしても第4ステージの取組というものは市民の皆さんにも理解していただいて進めていかないと難しいと私は思う。今日は、岡田センター長と樋口課長にご説明いただきましたが、また段階を踏んで改めて説明をしていただきたいと思います。よろしいですか。

センター長： はい。今日は本当に市の基本的な考え方の段階で、具体的な資料が不十分なところがありましたので、今日いただいたご意見、それから他の地域協議会のご意見もありますので、もう少し具体的な資料を用意して協議の場を継続していただければと考えております。地域協議会でこれまでも取り組んで

いただいたものもありますが、地域協議会の任務の一つとして、住民自治の推進や住民の協働によるまちづくりの調査・研究といった役割もありますのでその中で検討していただければと思います。それから、この地域協議会と自治連の皆さんとの懇談の場みたいなことも設定できればと思っておりますのでよろしくお願いたします。

会長： ありがとうございます。それでは今日のところはこの辺でよろしいですか。また、必要に応じて説明に来ていただくということですのでこれについては終わりにしたいと思います。それでは次にその他、事務局の方からお願いします。

事務局： それではその他ですが、今後の日程について確認します。

(日程確認)

会長： 本日はこれで終わりにします。大変ご苦労様でした。

5 次回会議の開催と日程について

第3回中央地域協議会 平成24年6月18日(月)

第4回中央地域協議会 平成24年7月10日(月)

6 閉 会